

お客様インタビュー

株式会社ナカムラ消防化学 代表取締役社長 中村康祐様

お客様インタビュー第2弾は、PP製タンクを消防車用のタンクとして採用いただいている(株)ナカムラ消防化学様です。2013年に初めてPP製タンクを導入され、その後も継続して採用いただき今回納入でちょうど10基目になります。

明るく魅力的な笑顔の中村康祐社長にPP製タンクの採用エピソードをお伺いしました。

-初めてPP製タンクを採用された当時の様子をお聞かせください。

2013年に開催された消防関係の展示会で、当社のブースに御社の営業の方が訪ねてきたことが最初のきっかけです。当時、消防自動車の軽量化を図る為にSUS製のタンクをPP製に替えるという海外の流れは認識していましたので、訪問頂いたことは本当にタイムリーでありました。それから設計的な協力を頂き、その時に受注していた都城向けの消防自動車にPP製タンクを搭載するというトントン拍子に話が進みました。当時はお互いに初の試みであり且つ時間も無かったこともあり、いろいろ苦労もありましたが、御社に親身になって対応頂き無事納入できました。今思えば、綱渡り感も否めませんが、後発メーカーである当社（ナカムラ消防化学様）としては御社（旭有機材）を信じて新しい物にチャレンジしました。もちろん納入後の消防自動車については、いずれもノートラブルです。

-PP製のタンクはいかがですか？

近年、災害が多く、消防自動車においては多様性を求められています。それにはタンクを軽量化し搭載する装備品を増やせることがとても利点となっています。いろいろと改良を進める上で、御社（旭有機材）の設計や製造の方にスピーディに対応頂いてとても助かっています。今後も業界では異端児と言われている当社（ナカムラ消防化学様）の変なお願いに対応頂きたいと希望しております。

-今後の展開を教えてください

タンクに限らずにパーツについてもPP化を進めています。現状、「フェンダー」や「煽り」はPP製となりましたが、これから「扉」などの大型パーツのPP化を図っていく考えです。そして御社にパーツとしてまとめて発注することを目指しています。

【訪問会社名】

株式会社ナカムラ消防化学

長崎県大村市平町 1933 番地

TEL : 0957-52-1617

業務内容：消防ポンプ自動車の製造販売 ほか

U.R.L. : <http://www.n-fc.com/index.shtml>

